

第3回小松川・平井地区中学校統合に向けた合同会議 議事録（要旨）

【日 時】令和元年 8月1日（木） 19：00～20：15

【場 所】小松川第二中学校平井校舎 2階小ホール

【主な内容】

1. 前回の議事内容確認について

・通学区域については一定程度理解していただいたと判断している。

2. 学校改築事業名について

・学校改築事業名を統合校の学校名が決定するまでの間は、「小松川第一中学校改築事業」から「小松川・平井地域中学統合校改築事業」に変更する。

3. 各小中学校の保護者会について

・7月に小松川・平井地域の各小中学校の保護者会で統合について説明を行った。保護者からは通学区域や学用品など様々な質問が出た。

4. 統合に係る諸課題の確認について

・諸課題に学用品の検討、学校の経営方針、教材の管理の仕方、校則、式典、生徒交流等を追記した。

5. 学用品の課題整理について

・保護者の関心の高い学用品の検討を始めたい。
・現小学6年生と5年生は統合時に学用品を一新するか、それとも各学校の学用品をそのまま使用するかなど検討が必要。

6. 校章・校歌について

・今後検討していく。

〔主な意見と回答〕

1 主な内容1～4について：

○通学区域の選択制の優先権はどうなったか。

具体案がまとまりそうなので次回示せると思う。〔事務局〕

校舎解体後は夜間学級はどこへ行くのか。

東敷地の校庭に2階建ての仮設校舎を建設し、運営する。10月頃から仮設校舎を建設予定である。〔事務局〕

2 学用品について：

学用品の変更に伴う費用は誰が支払うのか。

過去の事例では、区が費用負担をしている。〔事務局〕

江戸川区で中学校の統合は初めてか。

初めてである。〔事務局〕

8月末～9月にかけて学校説明会があり、その際各校でどの程度まで話していいのが統一した基準を設ける必要がある。

保護者説明会で説明するか、事前に文書を配布するか対応を考えている。現在内容について検討中である。〔事務局〕

学用品の変更に伴う費用は誰が負担するかを決めないと学校選択に影響が出る。区が負担しないなら二中に、負担するなら一中、三中に入学しようという家庭が少なからずある。保護者が学校選択するにあたって、通学区域の次に大事なことだと思う。

区で費用を負担してくれないと家庭には厳しい。

学用品を新しくしたい子もいれば、そうでない子もいる。保護者より子どもたちのほうが気にする問題だと思う。今の時期でいうと、修学旅行時の統一感の無さがある。男子は学ランなので、女子のほうが制服を気にすると思う。

制服の混在は職員同士の意思疎通のそごや混乱につながる。それは最終的には子どもたちに影響を与えることになる。

3校が統合した際に異なる制服が混在すると、統合校の生徒になり切れない。新しい学校なら新しい学校の形を作って新しい学校の生徒として進めていくのが筋ではないかと思う。

各課題の検討スケジュールは早められないのか。

今年度決めなければいけない事項が3つある。1つ目は通学区域、2つ目は校名、3つ目は学用品である。通学区域は一定程度の了承を得られたと思う。校名は今年度末までには決めたい。学用品についても切り替えのことや予算を考えると今年度末から来年度の初めまでには決めたい。〔事務局〕

制服を今後変えるとなると、業者は3学年分の材料が必要になってくる。そうになると、デザインが決まっても、材料が用意できなかつたり、工場が稼働しなかつたり、入学式までに納品できないという理由で受注してくれない可能性が出てくる。また、業者は生徒数の減少に伴い縮小傾向にある。よって、制服を変えるにしてもマイナーチェンジ等で普通の3倍のニーズに業者が応えられるようにしないといけない。

できるだけ早めに検討を進めたい。〔事務局〕

校名はどのように決めるのか。

次回から校名をメインに検討を始めたいと思う。まずはこの場で意見をもらうこと、そして他の場での意見の拾い方、反映のさせ方や時期も検討したい。広めのところから議論を始めたいと考えている。校名は保護者や地域の強い思いがあるので、いろいろなご意見をいただきたいと考えている。〔事務局〕

過去の江戸川区の例では現役の保護者、児童、近隣の幼稚園などにアンケートを行った。結果として相当数意見があったので、ある程度数を絞り最終的に教育委員会で決めた。〔事務局〕

校名の決め方は他区の事例もあり、色々な決め方がある。統合校として地域に情報が発信されたなかで、この地域に関わるいろいろな人から意見をもらうべきである。

そのためにはあえて時間を前倒しにするべきではない。

校名はたくさんの意見が出ると考えており、検討期間中は毎月合同会議を開催し、徐々に詰めていきたい。〔事務局〕

以上